

回覧

カセットボンベ・スプレー缶 (エアゾール缶) は、必ず使い切ってから 穴を開けて出しましょう



中身が残ったカセットボンベや、スプレー缶をそのまま「ごみ」として出すと、ごみ収集車やごみ処理場での引火や破損事故の原因となり大変危険です。

必ず中身を使い切ってから、缶に穴を開け不燃ごみとして出してください。

ご家庭で安全に穴を開ける方法

- 必ず中身がカラであることを確認してください。缶を振って中身が残っていると「シャカシャカ」「チャブチャブ」などの音がします。
- 噴射口からシューという音がなくなるまでボタンを押して出し切ってください。
- 作業は火気のない風通しの良い屋外で行うようにしてください。
- 穴を開ける部分は顔から遠ざけるとともに、開ける方向に人がいない事を確認してください。
- 穴を開ける際は、火花が散るような強い衝撃を与えないようにしましょう。
- ご家庭にある缶切り等やホームセンター等で販売されている穴を開けるグッズを利用すると安全に作業ができます。



処理方法のお問い合わせ先



カセットボンベ

社団法人日本ガス石油機器工業会
「カセットボンベお客様センター」

<http://www.jgka.or.jp>

☎0120-14-9996



スプレー缶(エアゾール缶)

社団法人日本エアゾール協会

<http://www.aiaj.or.jp>

☎03-3201-4047(代)

ごみは正しく分別して出しましょう



燃えるごみ専用袋(青色)の中に、缶やビン等の不燃ごみの混入が見られ、安定した焼却の妨げになっています。

ごみ収集カレンダー「ゴミと資源の分け方・出し方」により資源ごみまたは不燃ごみに正しく分別し、収集日当日の朝8時30分までに出示しましょう。

ごみの減量に
ご協力お願いします



問い合わせ

長生郡市広域市町村圏組合 環境衛生課

☎0475(23)4944